

富士見市協働事業提案制度 平成30年度採択協働事業

提案種別	市民提案型									
事業の名称	ミニ鉄道運転会40周年記念車両製作									
提案者	富士見市ミニ鉄道クラブ富士見部会									
主な活動場所 (施設名等)	富士見市内									
構成員	<table border="0"> <tr> <td>市内在住</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>市内在勤・在学</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>市外在住</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9名</td> </tr> </table>	市内在住	9名	市内在勤・在学	0名	市外在住	0名	合計	9名	
市内在住	9名									
市内在勤・在学	0名									
市外在住	0名									
合計	9名									
団体設立年月	昭和55年4月									
事業期間	平成31年4月1日 ～ 令和2年3月31日									
事業の目的	市内外から多くの子どもたちが来場され、楽しんでもらっているミニ鉄道運転会を継続して開催することを目的とする。									
事業の内容	<p>毎年4月から12月にかけて開催しているミニ鉄道運転会は、昭和55年に全国初の公営ミニ鉄道公園として開始されて以来、市と富士見市ミニ鉄道クラブの協働により行われ、今年（平成30年）で38年になる。富士見市ミニ鉄道クラブでは、鉄道車両の整備や点検、機関車の運転等を担い、市は、車両や軌道の点検調整や修繕を行っている。</p> <p>無料で乗車できるこの運転会には、毎年延べ10,000人を超える来場者があり、毎回多くの子どもたちに楽しんでもらっているが、市が所有する鉄道車両は昭和55年と昭和61年に購入した小型電気機関車とミニSLの2台で、老朽化が進んでおり、富士見市ミニ鉄道クラブ会員のボランティアにより修理しながら、なんとかその性能を維持している状態である。</p> <p>2年後の令和2年には40周年を迎えることになるが、富士見市ミニ鉄道クラブ会員のアイデアと機関車製作の経験を活かして新たな機関車を製作し40周年を祝うとともに、子どもたちにより親しまれるミニ鉄道運転会を開催していく。</p>									
事業予算額	<table border="0"> <tr> <td>市補助金</td> <td>200,000円</td> </tr> <tr> <td>団体負担金</td> <td>0円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>200,000円</td> </tr> </table>		市補助金	200,000円	団体負担金	0円	合計	200,000円		
市補助金	200,000円									
団体負担金	0円									
合計	200,000円									
協働の効果と役割分担（要約）	<p>1 協働の必要性</p> <p>市と協働で新しい機関車を製作することで、これからも安全で楽しいミニ鉄道運転会を市民に向けて開催ができ、親子のふれあいの場や地域コミュニティづくりの場を提供できる。</p> <p>2 提案団体が担う役割</p> <p>会員の電気機関車製作経験を活かし、40周年記念電気機関車を完成させる。</p> <p>3 市に期待する役割</p> <p>事業内容の公開と、電気機関車製作に対する部品材料及び加工について協力が得られる企業との連絡調整。市民向けイベント（最終塗装や組立）の会場確保や広報。</p>									